

鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場である。

初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているのでござるよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

エプロンを一番上に

着ぶくれて

滋賀県大津市 太田 怒忘

今月の短歌

本当にあなたの子供でよかったと言いだせぬまま明日から一人

埼玉県川口市 崎本 ミナト

季節は「着ぶくれ」。冬の季節である。近年は科学的な手段を施して「薄くても暖かい」衣類が回っているが、昔の日本では、ひたすら何枚も着がさねて寒さを防ぐしか方法が無かった。着物も冬季は「綿入れ」が基本で、ともかく立ち居が不自由なほどに「着ぶくれた」老人や子供が目についた。

本句の主人公は主婦であろうか。様々に重ね着をした挙げ句に「エプロン」までしていたというのである。やや滑稽なまでに「着ぶくれ」た主婦の姿を見る憐憫と愛情の眼差しが温かい。

両親の庇護から離れて、自立しようとするとき、正面からこれまで育ててもらったお礼を言うのは気恥ずかしくて、なかなか口に出せないものです。気持ちを自然に伝えたいと思えば思うほど、何だか芝居がかってしまふ気がするという場面は、誰でも思い当たる経験があるはず。作者は、感謝の思いでいっぱいになりながら、とうとうその機会を得られなかったのでしょうか。けれども、結局「明日から一人」と、自立する自己に向き合っています。その緊張感がこの一首をキリッと引き締めています。

(西行祭筆者 今井 恵子)

講座の申込み・問合せ 鳴立庵 ☎(61)6926

講師 対象 定員 費用 持ち物

講座名	日程	時間	備考
生け花展示	5月9日(金)～5月11日(日)	9:00～16:00	大磯オープンガーデン 鳴立庵企画 いけばな展 講 櫻花遠州流家元 浅田 眞仙氏 費 入庵料のみ
座 禅	5月17日(土)	13:30～14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講 豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
伝 筆	5月25日(日)	10:30～正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講 認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対 中学生以上 定10人 費3,850円(材料費込)
花の会	5月28日(水)	14:00～16:00	ペーパートレイを使ったパラレルアレンジ 講 府川 葉月氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持 はさみ、タオル、持ち帰り袋
お茶の会	6月7日(土)	10:00～12:00	お茶の新しい楽しみ方を発見! アイスティ&冷茶講座 講 高野 幸代氏 定6人 費3,000円(お茶菓子付き・入庵料込)

「めいどいん おおいそ」登録産品紹介

問 大磯らしい潤いづくり協議会 (大磯町商工会) ☎(61)0871



登録産品：大磯あおばとサブレ
店舗名：湘南大磯 パンの蔵
問合せ先：☎(61)4441

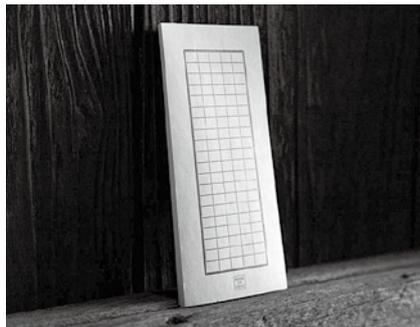
お店からのひとこと：

大磯照ヶ崎海岸に塩水を飲み飛来するアオバトを抹茶を使い緑色の焼き菓子を作りました。



【AUI-AO Design】

問合せ先：☎



大磯の一筆箋

【福月洋装店】

問合せ先：☎



波のピンタックアート ワンピース